

# 図書館だより

## 目次

学都アテナイのハドリアヌス図書館	—新海 邦治	1
「今、学生にすすめる本」一覧(Ⅲ)		2
図書館での新発見	—国武奈央子	5
図書館、楽しむ空間	—劉 寒	
図書館でパソコンを利用するには(おしらせ)		6
図書館コード 一図書館でのやくそくごと	—鈴木 学	7



## 学都アテナイのハドリアヌス図書館

新海 邦治

現代アテネの中心に位置するシンタグマ広場からアマリアス通りを南下すると、10分足らずで左手に古代のアーチ門が見えて来る。門の上部、フリーズには刻銘があって、アクロポリスに面する北西側には「ここはアテナイ、テセウスの旧き町」と記され、裏の南東側には「ここはハドリアヌスの町、テセウスのそれに非ず」とある。門はかつて、アテナイの新旧両市街を画する記念碑的な意味を持っていたのである。アテナイの伝説的英雄テセウスに自らを対置したローマ皇帝ハドリアヌスは、「小さなギリシア人」と渾名される程のギリシア文化愛好家として知られていた。アーチ門の南東には、彼が完成させたゼウスの大神殿オリュンピエイオンの遺跡も間近に見ることができる。コリント式の華麗な円柱108本を以て堂体を囲んだ二重周翼式のこの神殿は、床面積にしてパルテノンの2倍強、ギリシア本土では最大の神殿であった。

だがこの皇帝がアテナイに遺したものは大神殿だけに留まらない。なかでも2世紀の旅行家パウサニアスが『ギリシア周遊記』で、「百本柱」として言及している図書館の建物は有名であった。広大な中庭を囲む形で巡らされた回廊に、プリュギア産大理石で造られた美しい百本の柱を配する構造から、「百本柱」と呼ばれたものらしい。図書館の本体はその東翼に設けられていた。

アクロポリスの上から眺め下すと、北西の麓に市民生活の中心をなしたアゴラの遺跡が広がっており、さらに目を右に転ずれば図書館の遺構を見出すことができる。現在では一部分だけを残すにすぎないこの建物は、ポロス石の巨大な壁が全体を囲む構造を成し、南北82m、東西120mの規模を有していた。当時は、西側に設けられた正面入口を入ると、広い中庭を隔てた向い側の回廊の奥に大小の部屋が並んでいた筈である。パウサニアスによれば、これらの部屋はいずれも天井が黄金と雪花石膏で張られていて、彫刻や絵画で飾ってあり、書物が収められていたという。部屋は五つあり、その中間口23m、奥行15mほどの広さを持つ中央の一室が、周囲の壁に書架のための壁龕を備えていたことが、調査によって確認されている。壁龕は上下に三層を成して配置され、その数66と推定された。収蔵能力8千巻弱という計算になる。

この図書館がどのように利用されたか、また、学都としての余命をなお保っていたアテナイの延命に果たして寄与するものであったのか、古人は我々に何も語ってくれない。古都アテナイへのハドリアヌスの思い入れも、歴史の流れを転換させる力とはなり得なかったと言うべきなのだろうか。

(図書館長・文化学科教授)

## 「今、学生にすすめる本」一覧(Ⅲ)

\* 推薦された先生方の所属は、2005年4月現在のものです。

推薦者 (所属学科)	タイトル 著者/訳者・編者 出版者(叢書名など)	請求記号 (所蔵)・掲載号
阿部 隆 (現代社会学科)	『ワイルド・スワン』(上・下) ユン・チアン著/土屋 京子訳 講談社	/289.2/Cho (目西△)・116
山本 鎮雄 (現代社会学科)	『知られざる社会学者 成瀬仁蔵』 河村 望著 人間の科学社	/289.1/Nar (目西△)・120
小林 多寿子 (現代社会学科)	『忘れられた日本人』 宮本 常一著 岩波書店(岩波文庫)	/388.1/Miy (△)※・112
新保 満 (元現代社会学科)	『ひとすじの道』 丸岡 秀子著 偕成社	/913.6/Mar (目西△)・106
成田 龍一 (現代社会学科)	『「方法」としての思想史』 安丸 良央著 校倉書房	/121.6/Yas (目)・105
	『化生する歴史学－自明性の解体のなかで－』 鹿野 政直著 校倉書房	/210.04/Kan (目西)・105
	『差別の視線－近代日本の意識構造－』 ひろた まさき著 吉川弘文館	/210.6/Hir (目西)・105
大沢 真知子 (現代社会学科)	『聞いてください－反原子力発電のメッセージー』 坂田 静子著・発行	/543.5/Sak (目西)・110
馬場 哲雄 (現代社会学科)	『道ありき』 三浦 綾子著 主婦の友社	/289.1/Miu (△)※・108
遠藤 知巳 (現代社会学科)	『グラモフォン・フィルム・タイプライター』 フリードリヒ・ キットラー著/石光 泰夫, 石光 輝子訳 筑摩書房	/361.45/Kit (西)・114
	『イデオロギーの崇高な対象』 スラヴォイ・ジジェク著/鈴木 晶訳 河出書房新社	/139/Ziz (西)・114
尾中 文哉 (現代社会学科)	『現代日本のアニメ「AKIRA」から「千と千尋の神隠し」まで』 スーザン・J・ネイピア著/神山 京子訳 中央公論新社(中公叢書)	/778.77/Nap (目西)・118
岩田 正美 (社会福祉学科)	『ハマータウンの野郎ども』 ポール・ウィリス著 熊沢 誠, 山田 潤訳 筑摩書房(ちくま学芸文庫)	/367.6/Wil (目西)・116
秋元 樹 (社会福祉学科)	『資本論』 カール・マルクス著/向坂逸郎訳 岩波書店(岩波文庫)	/331.6/Mar (目西)※・112
	『資本主義の最高の段階としての帝国主義』 レーニン著 岩波書店(岩波文庫)	/309.3/Len (目△)・112
	『死線を越えて』 賀川 豊彦著 社会思想社(現代教養文庫)	/913.6/Kag (西)・112
	『雨の日のネコはとことん眠い』 加藤 由子著 PHP研究所	/645.6/Kat (西)・112
	『人間不在の進歩－新しい技術、失業、抵抗のメッセージー』 デー ビッド・F・ノーブル著/渡辺 雅男, 伊原 亮司訳 こぶし書房	/366/Nob (目)・112
星野 信也 (元社会福祉学科)	『なぜ日本は没落するか』 森嶋 通夫著 岩波書店	/302.1/Mor (目西)・106
北西 憲二 (社会福祉学科)	『亡き子へー死別の悲しみを超えて綴るいのちへの証言ー』 若林 一美編 岩波書店	/490.14/Nak (目△)・118
牧野田 恵美子 (元社会福祉学科)	『五体不満足』 乙武 洋匡著 講談社	/369.27/Oto (目西△)・105
木村 真理子 (社会福祉学科)	“The Careless Society: Community and its Counterfeits.” John McKnight 著 New York Basic Books	(所蔵無)・120
小山 聡子 (社会福祉学科)	『癒しのセクシー・トリップーわたしは車イスの私が好き！ー』 安積 遊歩著 太郎次郎社	/916/Asa (西)・110

- 増田 幸弘 (社会福祉学科) 『21世紀社会福祉学—人権・社会福祉・文化—』 一番ヶ瀬 康子編 有斐閣 /369/Nij (目西)・114  
『現代公的扶助法論』(新版) /369.2/Gen (目西)・114  
古賀 昭典編著 法律文化社
- 中谷 陽明 (社会福祉学科) 『五体不満足』 /369.27/Oto (目西)・108  
乙武 洋匡著 講談社  
『無敵のハンディキャップ—障害者が「プロレスラー」になった日—』 北島 行徳著 文芸春秋新社 /916/Kit (西)・108  
『笑え!五体不満足—車椅子の芸人ホーキング青山が生きることを本気で語る毒舌録—』 ホーキング青山著 発売:星雲社 /369.27/Hok (西)・108  
『熟年性革命報告』 /367.7/Kob (西)・108  
小林 照幸著 文芸春秋新社(文春新書)
- 河口 道朗 (元教育学科) 『風のレッスン』 /369.27/Miy (目西)・108  
宮本 まどか著 静岡新聞社  
『癒しの音を求めて』 /147/Miy (目)・108  
宮下 富美夫著 春秋社
- 岩木 秀夫 (教育学科) 『なぜ日本は没落するか』 /302.1/Mor (目西)・105  
森嶋 通夫著 岩波書店
- 高山 博之 (元教育学科) 『日本人と日本文化』 /210.04/Shi (目西)・112  
司馬 遼太郎, ドナルド・キーン著 中央公論社(中公新書)  
『武士道』 /156/Nit (目)※・112  
新渡戸 稲造著/奈良本 辰也訳 岩波書店(岩波文庫)  
『もうひとつの手話—ろう者の豊かな世界—』 /378.28/Sai (西)・119  
斉藤 道雄著 晶文社 (所蔵無)・115
- 森田 伸子 (教育学科) 『池袋通り魔との往復書簡』  
清永 賢二 (教育学科) 青沼 陽一郎著 小学館(小学館文庫)  
田中 雅文 (教育学科) 『リキッド・モダニティー—液状化する社会—』 /361/Bau (西)・122  
ジークムント・パウマン著/森田 典正訳 大月書店  
渡邊 恵子 (教育学科) 『精神疾患はつくられる—DSM診断の罫—』 /493.72/Kut (目西△)・117  
ハーブ・カチンス, スチュワート・A・カーク著/高木 俊介, 塚本 千秋監訳 日本評論社
- 牧野 暢男 (教育学科) 『自由からの逃走』 /361.4/Fro (目西△)・110  
E・フロム著/日高 六郎訳 創元社(現代社会科学叢書)
- 入江 宏 (元教育学科) 『福沢諭吉家族論集』 /367.3/Fuk (目)・106  
中村 敏子編 岩波書店(岩波文庫)
- 岡本 安晴 (心理学科) 『動物の「食」に学ぶ』 /481.78/Nis (目)・122  
西田 利貞著 女子栄養大学出版部  
『コンピュータはどれほど賢いのか』 /007.6/Fun (西)・122  
船本 昇竜著 すばる舎
- 小山 高正 (心理学科) 『生物から見た世界』 /481.78/Uex (目西)・111  
ヤーコプ・フォン・ユクスキュル, ゲオルク・クリサート著 /日高 敏隆, 野田 保之訳 思索社
- 須賀 哲夫 (心理学科) 『将監さまの細道』 /918.6/Yam/27 (目)・115  
山本 周五郎著 新潮社(山本周五郎全集(第27卷))  
『その木戸を通して』 /918.6/Yam/28 (目)・115  
山本 周五郎著 新潮社(山本周五郎全集(第28卷))  
『大納言狐』 /918.6/Yam/1 (所蔵無)・115  
山本 周五郎著 新潮社(山本周五郎全集(第1卷)) ※他、短編
- 川原 ゆり (心理学科) 『未来免疫学—あなたは「顆粒球人間」か「リンパ球人間」か—』 /491.8/Abo (目)・117  
安保 徹著 インターメディカル
- 鳥居 登志子 (心理学科) 『認識とパターン』 /401/Wat (西)・107  
渡辺 慧著 岩波書店(岩波新書)

平木 典子 (元心理学科)	『ペンキヤ』 梨木 香歩作, 出久根 育絵 理論社	/726.5/Nas (西)・119
本間 道子 (心理学科)	『安心社会から信頼社会へー日本型システムの行方ー』 山岸 俊男著 中央公論新社(中公新書) 『信頼の構造ーこころと社会の進化ゲームー』 山岸 俊男著 東京大学出版会	/361.4/Yam (西)・109 /361.4/Yam (目西)・109
鷲見 成正 (元心理学科)	『視覚の文法』 G. カニツツァ著/野口 薫監訳 ※「カニツツァの図」参照 『茶の本』 岡倉 天心著 岩波書店(岩波文庫)	/140.17/Kan (西)・104 /791/Oka (目西)※・104
久東 光代 (心理学科)	『rootから/へのメッセージ ▼スーパーユーザーが見たひと とコンピュータ』 高野 豊著 アスキー出版局	/007.6/Tak (西)・113
糊澤 雅子 (元文化学科)	『移り住む魂たち』 今福 龍太著 中央公論社 『移動溶液』 今福 龍太著 新書館 『知のケーススタディ』 多木浩二, 今福龍太著(対話集) 新書館	/295.309/Ima (目)・104 /914.6/Ima (目)・104 /304/Tak (目)・104
宮本 絢子 (文化学科)	『デカルト=エリザベト往復書簡』 山田 弘明訳 講談社(講談社学術文庫)	/135.2/Des (目西)・117
高橋 行徳 (文化学科)	『審判』 クランツ・カフカ著/池内 紀訳 白水社(カフカ小説全集(2))	/943/Kaf/2 ※・111
斎藤 廣信 (文化学科)	『方法序説』 デカルト著/落合 太郎訳 岩波書店(岩波文庫)	/135.2/Des (目)※・114
山田 忠彰 (文化学科)	『本が死ぬところ暴力が生まれるー電子メディア時代における人間性 の崩壊ー』 バリー・サンダース著/杉本 卓訳 新曜社 『イタリヤ紀行』(上・中・下) ゲーテ著/相良 守峯訳 岩波書店(岩波文庫)	/801.03/San (目西)・107 /945/Goe (目西)・107
杉森 長子 (元文化学科)	『歴史とは何か』 E. H. カー著/清水 幾太郎訳 岩波書店(岩波新書)	/201.1/Car (目)・115
増淵 宗一 (文化学科)	『三銃士』(上・下) フレッド・ニプロ監督 ほか ※西生田「ビデオ・ライブラリー」より	VT (西)・116
塚野 千晶 (元文化学科)	『江戸歌舞伎文化論』 服部 幸雄著 平凡社	/774.2/Hat (目西)・118
服部 幸雄 (元文化学科)	『日本文化のゆくえ』 河合 隼雄著 岩波書店 『日本文化の歴史』 尾藤 正英著 岩波書店(岩波新書)	/302.1/Kaw (目西)※・109 /210.1/Bit (目西△)・109
于 保田 (文化学科)	『騎馬民族国家ー日本古代史へのアプローチー』 江上 波夫著 中央公論社(中公新書) 『水滸伝ー虚構のなかの史実ー』 宮崎 市定著 中央公論社(中公文庫)	/220/Ega (△)・113 /923.5/Miy (目)※・113

\* (所蔵)欄の表示について(2006.2.20現在の所蔵の状況です)

目: 推薦図書を目白図書館で所蔵 /

西: 推薦図書を西生田図書館で所蔵収録図書所蔵 /

△: 推薦図書を図書館以外で所蔵 /

※: 推薦図書が他の図書に収録



## 図書館での新発見

国武 奈央子

皆さんもそうかもしれませんが、私は初めて大学の図書館に入ったとき、「広い」、「蔵書がたくさんある」という印象を受けました。もちろん高校までは小さな図書室しかなかったため、少し圧倒されました。そして使い慣れないうちは図書館の中で迷ったりして本を探すのが大変でした。

しかし一旦慣れてしまうともう図書館通いが病み付きになりました。せっかく身近なところに面白そうな本がたくさんあるのに、読まないのはもったいないし、何だか本にも申し訳ないと思うようになりました。他の本たちには「ごめんね、また今度借りに来るから」と心の中で呟きながら、とりあえず一度に読みきれだけの量をせっせと借りては読みます。

図書館でアルバイトをするようになると、いやでも自分の専門分野とは関係ない書架の本が目に入ってくるようになりました。おかげで、そこにも意外と面白そうな本があることに気がつきました。きっとアルバイトをしていなかったら一度も近寄らないで卒業していたかもしれないと思います。また、自分の興味がある本が意外なところに点在していることを知ったときは、ものすごく得をした気分になります。そう、私にとって図書館は新しい発見が尽きない、わくわくするような場所なのです。

レポート作成の為に資料を集めに図書館に入ったつもりが、気がついたら関係ない本を引っ張り出してきて読んでいる、何てこともしばしばあります。勉強が嫌になって4階奥の大型本のコーナーから絵や写真の多い本を引っ張り出しては気休めに眺めることもあります。大学図書館は難しい専門書がぎっしり詰まった、勉強をするための場所と思っている人が多いのでは？しかし、そんなことはありません。むしろ気軽にくつろげる場所です。一人で静かに休みたい時、授業時間が空いてしまっただけのとき、そんな時は図書館で過ごしてみても如何でしょう。きっと何か新しい発見があるはずです。  
(英文学研究科・1年次院生)

## 図書館、楽しむ空間

劉 寒

図書館は人によって違い意味づけられているでしょう。私にとっては精神を休める場所です。私、留学生は外国での生活は時に疲れを感じます。このとき、図書館で国の雑誌、新聞などを読めることが心を温められ、安らげる気分になります。

留学生は言葉の不便で大学の勉強にいろいろな困難に遭えます。特に大学初めの一年間に授業が聞き取れなかったり、ノートを写せなかったりの問題が相次いで遭えます。そして、試験に近づいてきたらレポートの書き方が分からないことなど精神的に落ち込みやすくなります。言葉の不便で書物をスムーズに読めない悩みもあるでしょう。このとき、図書館をいかに利用すれば、自分の助かりになるかがとても重要です。図書館はレポートの書き方に関する本が数多く置いてあります。授業での聞き取れなかった部分は図書館で関連ある本を借りて読むことが大事でお勧めです。図書館でのパソコン利用が私にとって、楽しみの一つになります。参考文献を読みながら、ネットでの検索もできるため、とてもいい勉強になります。その際、疲れてきたら、雑誌を読んだりビデオを見たりすると、本当に良い気分転換になります。そのとき「なんといういい大学生活だろう」と思うかもしれませんね。グループ作業を図書館で行うのも最適です。四階にあるグループ研究室の、快適な空間で議論をしても、他の人に迷惑をかけず、自由自在に共同勉強を楽しむことができます。

読書は専門的なものだけに限らず、小説なども読むことも楽しみです。私にとっては興味を持つ本を読むのが日本語の勉強にもなります。世界観を広げて自分なりに数多くの本に触れることが能力を高める重要手段だと思います。大学四年間の生活を充実で過ごすために、図書館を活用していきましょう。  
(現代社会学科・2年次学生)

## 図書館でパソコンを利用するには（おしらせ）

図書館では、コンピュータセンターから借り受けたノートパソコンを、インターネットに接続して利用することができます。これによりインターネット上の情報を参照しながら、レポートの作成などができるようになります。利用規則については以下の通りです。

### ○コンピュータセンターのノートパソコンをインターネットに接続して利用する場合の規則

	目白図書館	西生田図書館
利用場所	4階閲覧室の窓側の個人机	1階の指定された個人机
利用時間	コンピュータセンターへの返却時間に間に合うまでに終了	通常開館時 月～金 9：10～18：00 土 9：10～15：00
接続方法	指定場所の個人机でケーブルをコネクタへ接続	

※コンピュータセンターから借りたパソコンをインターネットに接続しないで利用する場合はこの限りではありません。

### ○利用に当たっての注意

- その1) コンピュータセンターで貸し出しをするノートパソコンにはいくつかの利用上の制限がありますので、貸し出し手続きの際に必ず確認してください。
- その2) 自分で所有しているノートパソコンも図書館に持ち込んで利用することができますが、インターネットには接続できません。また、コンセントの設置場所も限られていますので利用場所にもご注意ください。コンセントが近くにある各フロアの個人机での利用がおすすめです。
- その3) 作成したレポートなどの出力は図書館ではできませんのでご注意ください。
- その4) パソコンの管理は各個人が責任を持ち、盗まれないように十分にご注意ください。
- その5) コンピュータセンターから借りたノートパソコンに組み込まれた、各種アプリケーションについてはコンピュータセンターにお問い合わせください。

### 目白図書館での利用の様子



西生田図書館での利用の様子

持ち込んで利用するパソコンの図書館内での利用について、詳しくはそれぞれの図書館でお尋ねください。

## 図書館コード — 図書館でのやくそくごと —

※ "code"には、よく知られた「符号」「暗号」の意味の他に「礼儀作法」「規範」の意味があります。

### 1. 大学図書館は専門図書館です

地域住民の趣味・娯楽や教養のためといった文化的支援を主な目的とした公共図書館とは異なり、大学図書館は、そこで学ぶ、あるいは研究をする学生や教員のために、図書や雑誌といった資料を中心に、知識や情報を提供しています。大学図書館では研究領域に特化した主題についての資料を専門的に取り扱います。

### 2. 大学図書館はコピーセンターではありません

大学図書館の活動基盤となる法制度の一つに著作権法があります。利用者それぞれが必要とする資料を、必要な冊数すべて図書館でそろえておくことは不可能です。そのため大学図書館では資料の複写が認められています。ただし、大学図書館で資料の複写をすることは、著作権法の上では「特例」とされています。資料の半分以上を超えない量で一部だけ複写することが許されているのです。

### 3. 大学図書館は在学生と教員のもので

大学図書館は、対象とする学問領域に従事する学生や研究者に利用してもらうためにあります。大学図書館にある資料は、学生あるいは教員が優先して利用するために集められています。

### 4. 大学図書館にある資料は大学の一部です

大学図書館にある資料は、大学の財産です。それぞれの学問領域に合わせた資料の内容も、手に取る一冊一冊も、学校の一部分なのです。線を引いたり書き込みをすることは、校舎の壁に落書きすることと同じです。貸出した図書を、飲み物や食べ物で汚すことも、学校を汚すことと同じです。

### 5. 大学図書館は公共の場であり自分の家ではありません

大学図書館の利用者が、学生や教職員に限定されていますが、多数の人が出入りする場所です。貴重品の管理は利用者がそれぞれでしなければなりませんし、騒いだり大きな音を立てることは他の利用者の迷惑になりますので慎んでください。

### 6. 大学図書館は利用されるためにあります

大学図書館では古い本も新しい本も、似たような内容が集まるように並べられています。利用者が必要とする内容を探してさまようことがないような工夫なのです。

### 7. 大学図書館では利用者の情報は秘密にされています

図書館では、利用者の登録情報や何を貸出しているかといった利用者に関する情報を管理していますが、本人以外に提供することは一切ありません。個人情報の保護は図書館員の使命でもあります。

## 8. 大学図書館を上手につかきましょう

大学図書館を上手に利用してもらうためにいろいろ用意をしています。

### (1) 各種利用案内パンフレット

図書館のしおり (目白)	図書館のしおり (西生田)
日本女子大学図書館利用案内—目白— 貸出と西生田相互利用	日本女子大学西生田図書館利用案内 1 貸出・施設・目白図書館の利用
〃 図書の探し方	〃 2-1 図書の探し方 2-2 図書のさがし方
〃 逐次刊行物と館内各施設	〃 3 逐次刊行物とAVコーナー
〃 レファレンス・サービス (参考係)	〃 4 参考係 (レファレンス・サービス)

### (2) 図書館ホームページでのサービス

左から、図書館の利用案内・主題ポータル (主題ごとの資料案内)、開館日程、オンライン蔵書検索、オンラインデータベースなど、図書館関係リンク集、本学へのリンクです。利用案内には、e-learningという、インターネットを介したガイダンスが含まれています。また、本学の所蔵資料の情報や、オンラインデータベースからは、雑誌論文を入手することができます。



### (3) 図書館員による案内

図書館で直接図書館員にお問い合わせ下さい。利用に関することや資料に関することなど、図書館に関することでしたら何でもお受けします。(館員・閲覧係 鈴木 学)

#### 卒業生の図書館利用について

卒業予定の学生の皆さん、卒業後も図書館を利用できることをご存知でしょうか。平成18年4月以降に図書館のカウンターで、卒業生としての登録をすれば、新たな図書館利用カードを発行します。図書の貸出もできますので、どうぞご利用ください。

#### 旧教職員の図書館利用について

専任教職員の方は、退職された後も図書館を利用することができます。その際は図書館のカウンターで、旧教職員としての登録をしてください。

非常勤の教職員の方は、在職中は図書館を利用できますが、退職後はできなくなります。利用をご希望の場合は、図書館友の会会員の登録をして利用されるようにおすすめします。

**編集後記** 大学の春は卒業生を送る季節であり、新入生を迎える季節でもあります。図書館だより第117号より本号までの3年間、巻頭言を執筆してくださいました新海邦治館長は、この春に退官されます。現目白図書館開館以来41年間、図書館を支えてこられた上村美紗子事務部長は定年退職を、また35年間勤務された永富尚子情報受入課長も退職されます。今後とも指導をお願いいたします。巻頭と4ページのカットは、目白図書館で学生アルバイトをしている諏訪しおりさん(日本文学科3年次)が描いてくださいました。(田口)